

平成31年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		学校関係者評価	総合評価		
			具体的な方策	評価の観点		成果と課題	改善方策等	
1 教育課程・学習指導	<p>①教育課程の改善を図り、確かな学力向上を推進し、幅広い教養と課題解決力を身に付けさせる。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p>	<p>①-1 目標設定を明確にし、主体的・対話的な深い学びを通し、変容のプロセスを認知させる。</p> <p>①-2 進路指導のある授業、思考力・判断力表現力を育成する授業を推進する。(継続)</p> <p>②-1 探究学習を通し、自己の変容を認知させ主体的行動につなげる。(継続)</p> <p>②-2 新指導要領移行に向け、育てたい生徒像を策定する。</p>	<p>①-1 目標提示と振り返りのある授業を継続し、科共通でルーブリック評価を年4回程度実施する。</p> <p>①-2 定期テストにおいて過去入試演習および思考させるための記述問題を導入する。</p> <p>③-1 「総合的な探究(学習)の時間」に学力3要素評価を実施する。</p> <p>②-2 学校課題抽出や意見聴取を実施する。</p>	<p>①-1 ルーブリック評価を単元計画に沿って実施し、授業改善研修につなげることができたか。</p> <p>①-2 導入率調査および学びの基礎診断等の分析により、記述問題研究、授業改善につなげることができたか。</p> <p>②-1 学力3要素ルーブリック評価を実施することができたか。</p> <p>②-2 職員・生徒・保護者へのアンケート等を実施したか、育てたい生徒像を検証することができたか。</p>				
2 生徒指導・支援	<p>①部活動の活性化を通して、責任感や連帯感、他者と積極的に関わろうとする姿勢の涵養を図る。</p> <p>②規範意識の醸成を進め、自他を尊重する心を育成する。</p> <p>③生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。</p>	<p>①個と全体の充実を指導し、対話指導を充実させる。</p> <p>②安全、安心な環境づくりに向け未然防止指導を徹底する。</p> <p>③教育相談体制の充実を図る。</p>	<p>①対話指導を重視する。部活動については目標の周知から生徒の個別目標の引き出し、目標管理の対話指導を重視する。</p> <p>②遅刻数などの月別調査を導入し、全体指導の徹底を図る。</p> <p>③いじめにつながる行為の未然防止とケアを充実させる。</p>	<p>① 計画的に対話指導を実践することができたか。部活動等加入および部員異動状況はどうであったか。</p> <p>② 現状調査による重点的啓発活動ができたか。指導件数や携帯、ピアス指導カード発行枚数の推移は改善されたか。</p> <p>③学級集団アセスメントを活用し、組織的に情報収集し、支援体制を見立てることができたか。</p>				

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		学校関係者評価	総合評価	
			具体的な方策	評価の観点		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	世界を視野に入れた社会貢献について、生徒が自らのキャリア発達を意識できる進路指導の充実を図る。	①あきらめさせない進路指導で大学進学60%を目指し、自学自習力につながる組織的学習支援体制を構築する。(継続) ②探究活動における課題発見力を育成する。	①-1 組織的進路指導体制を充実させる。(継続) ①-2 進路指導における学習支援利用状況を向上させる。(継続) ②探究活動におけるルーブリック評価を実践する。(1②-1再掲)	①-1 進路支援グループ主催による、入試分析、入試改革研修会等を実施することができたか。 ①-2 夏期講習講座数は増加したか。家庭学習時間、自習室利用状況は向上したか。 ②学力3要素ルーブリック評価を実施することができたか。(1②-1再掲)			
4 地域等との協働	連携・交流を活性化させ、地域に親しまれ誇りとされる学校づくりを進める。	①百合高生として「社会のために活動する」意識を醸成する。 ②防災に係る地域協働体制を構築する。	①部活動・委員会活動等における地域交流、広報活動の充実を図る。(継続) ②防災訓練において、避難所初動マニュアルを訓練内容に盛り込む。	①委員会・部活動等による地域交流・広報活動参加数は増加したか。 ②職員の初動、および避難所初動態勢を確認することができたか。			
5 学校管理・学校運営	責任ある組織的業務を推進し、信頼される学校づくりを進める。	①教育公務員として業務遂行と遵守遂行意識を醸成する。 ②より多くの意見を検証し、開かれた学校づくりと働き方改革を推進する。	①-1 挨拶、整理整頓、準備室点検、名札着用を励行する。 ①-2 事故不祥事防止会議を充実させる。 ②効率的に会議を設定する。また、職員間、地域、保護者とのコミュニケーションの機会を増やす。	①職場点検の実施週間を設定できたか。 ①-2 会議資料を充実させることができたか。 ②会議日程の工夫やノー会議デーの設定、職員面談や提案書による意見集約や外部評価、アンケートを実施することができたか。			